

## 家庭自主学習 Q&A①

今年度、猿楽アップデート（当たり前を問い直す）の1つとして、基礎学習（漢字・計算・音読など）の一律宿題から家庭自主学習への移行を試み1ヶ月が経ちました。

自主学習ノートをすすんで見せてくれる子もいますが、御家庭でも取組で悩んでいるとの声も個人面談で複数ありました。御質問などをまとめて、Q&Aとしてまとめましたので御参照ください。（・は各担任より、具体的な内容について）

### Q1 家庭自主学習の目指していることは？

A 「やらされている宿題から選んで自ら行う学習へ」

昔から宿題は強制力が働くことから、お子さんの意欲の有無に関わらず「提出しなければいけないもの」となり、「出すこと」が目的になる場合がありました。また、宿題を提出すれば、取り合えずは安心と大人も安心し、それが成果と考えられていることもありました。

果たしてそれは意欲的な学び、個別に応じた本当に必要な学びになっているでしょうか。終わらせればよい宿題から、自分で選んで学び身に付く学習へ、学びの転換を目指していきたいと思えます。家庭学習の目指すところは、自分に必要な学習ややりたい学習、また、苦手としている内容について、自分に合うペースで学習を進めることです。それぞれのお子さんの学びのペースに沿った必要な学びができるのも家庭学習のよさです。

- ・自ら必要な学習を選択し、取り組むこと。
- ・自分に合った課題を考え、本人が計画的に取り組めるようになること（家庭の協力のもと）。
- ・自分で学習する時間を決める。自分で学ぶ力の育成。
- ・近い将来、必要なことを成し遂げるための計画を立て実行できる人になること。
- ・自ら計画を立てて、学習を出来るようにする力の育成。

### Q2 何を学習してよいか分からない

A お子さんに合う教材選びをするために

お子さんのタブレット端末にドリルパークやインタラクティブスタディ等学習アプリの学習があります。そちらを自分に必要なものを選んで行うのも良いでしょう。

また、教科書の補充問題や学校のドリルやプリント、市販の学習教材で合うものをお子さんと選んでみてください。教材選びに困る場合は担任へ是非、御相談ください。

1～3年生では、基礎的な学習課題を出してほしいとのお声が複数ありました。ご要望にお応えして、ドリルを購入したり、プリントなどをお渡ししたりするなど、おすすめの学習をお示ししています。お子さんと相談して、御希望があれば担任へ提出されたり、分かっていないところがあれば、持たせていただき学びプラスの時間などで個別指導を進めたりしていきます。

- ・漢字や漢字小テストの練習や、音読をしたり、計算を練習したりするとよい。
- ・週予定に掲載しているおすすめ課題に取り組んでみてください。

- ・漢字は漢字ドリルノートを用意してもらい、覚えられるまで練習できるとよい。
- ・音読、漢字、計算などの基礎基本。その他苦手なものに取り組めるとよい。
- ・基礎基本の内容を、プリントや教科書ワークで復習がおすすめ。

### Q 3 学校の授業の進み具合に合わせるにはどうすればよいか

A 学校の週学習予定（テスト等予定）とおすすめの家庭学習を参考にする。

次週の学習予定を前週の金曜日にお子さんにお渡ししています。そちらをもとに学習計画を考えてみてください。

- ・週予定を出しているの、そちらを御覧ください。
- ・1週間ごとにおすすめの家庭学習を示しています。
- ・「おすすめの学習」を例示、時間割を毎日チェックする。

### Q 4 次週の学習予定を子供のみの配布で分からない場合がある

A お子さんに配布したものと同様の学習予定を保護者の方へもホームページでお知らせをしています。お子さんと一緒に確認されてください。

全学年5月15日より（先行実施している学年もあります）

- ・スクールライフノートやTeamsの他、配布プリントで児童が分かりやすいように工夫しています。
- ・お子さんと一緒に確認できるよう、ホームページに掲載しています。

### Q 5 効果的な家庭学習の仕方は？

- A
- 1 間違いや分かっていないところを発見する。
  - 2 発見した間違いや、分からないところをできるまでチャレンジする。
  - 3 2で分からないところは質問する。

⇒チェックする問題の例として

方法：教科書の問題の奇数問題を数か所やってみる

インタラクティブスタディ問題（3年生以上）

東京ベーシックドリルの確認問題

学校のプリントやドリル、その他、御家庭で用意した問題集など

- ・自主学習ノートでの取り組みもおすすめです。
- ・なるべく短時間で集中して取り組めるよう時間帯を親子で決めるとよいです。
- ・復習を行い、間違った問題を解き直し、分からないところは担任や友達へ聞くとよいです。
- ・それぞれの児童に合ったドリルを購入する。一緒にやる気がでる教材を選び、達成感が得られるような仕掛けを考えると効果的です。

**Q 6 分かっていないことや躓いているところがある場合はどうすればよいか？**

A 担任へ御相談ください。

分かっていない箇所を付箋やメモなどで担任へ知らせていただき、学校の空いている時間や水曜学びプラスで個別指導します。

- ・分からないところなど、ぜひ担任に相談・質問をしてください。
- ・課題に取り組んで、担任まで提出してください。つまづきや分からないところがあれば、その場、休み時間や放課後、水曜の学びプラスで個別指導していきます。

**Q 7 個別に宿題を出してほしい**

A お子さんとも話をして、必要に応じて家庭学習で行うとよい内容を示し、自分でできるようになるまでサポートしていきます。

- ・おすすめの家庭学習に載っているものから選択していただくとよいです。
- ・学びの習熟に合わせてプリント等を渡すので、取り組んでみてください。個別対応も可能です。
- ・お子様と相談の上で、御希望があれば、個別の課題をお示しします。その場合も本人がやる気があるように一緒に考えていきたいと思えます。

**Q 8 宿題は今後は出さないのか**

A 必要に応じて出す場合があります

- お子さんにとって補充学習が必要な場合、学校でも個別指導をしますが、御家庭に御相談の上、必要な内容については御家庭でも進めていただくことがあります。
- 調べ学習や考える課題・表現する課題は必要に応じて宿題として出す場合があります。  
⇒探求的な学習（調査・記録・まとめ）や表現する学習（作文や日記、プレゼン作り）、自主学習ノートなど
- 今年度は、基礎的な学習については、一律の宿題はありませんが、必要に応じてお声掛けすることがあります。

**Q 9 誰も取り残さないとは具体的にどのようにするのか**

A 学習内容の8割到達を目指します。

- 学習内容が定着していないお子さんには、授業中はもちろんのこと、それ以外の時間や水曜学びプラスの時間を活用して個別に指導します。御家庭と連携して家庭学習の内容などもお勧めしていきます。必要に応じて、リベンジテストなど行い、8割到達できるようにしていきます。
- ・つまづきを把握できるようにし、必要に応じて個別指導をしていきます。
- ・再テストや類似問題を行うなど、学習の確認をして達成できるようにしていきます。